

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール部門 要項

1 目的

- ・中学校技術・家庭科で学習した「ものづくり」の成果を発表することにより、ものを創る喜びを味わう機会とするとともに、知識や技能の向上を図る。

2 期 日 平成28年11月19日(土)

3 場 所 静岡大学教育学部 ※会場の詳細は後日ご連絡いたします。

4 競技内容

- (1) 各校にて製作し、提出された作品を審査する。
- (2) 作品提出 平成28年10月28日(金)(当日の持ち込みも可能)
学校ごとに作品と別紙製作レポート(全国大会の形式2枚)を直接下記提出先に送付する。
送料は学校負担で願います。各校の出点数は5点程度までとする。

<提出先>

御前崎市立浜岡中学校家庭科 柴田 梢

住所 〒437-1612 御前崎市池新田3923-1 Tel: 0537-86-3355

- (3) 審査 平成28年11月19日(土)
審査項目は、全国中学生創造ものづくり教育フェアのものに準ずる。
(全日本技術・家庭科研究会HP「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール実施要項 ajgika.ne.jp 参照)
審査結果は後日提出校へ連絡する。
- (4) 表彰
上位優勝者2名は東海・北陸地区大会に静岡県代表として出場する。
大会参加者には賞状を与える。
- (5) その他
 - ・審査終了後、作品は返却する。返却料は事務局負担とする。
 - ・審査は静岡大学教育学部担当教官、静教研技術・家庭科教育研究部役員が行う。

※製作上の留意点(全国中学生創造ものづくり教育フェアのものに準ずる)

- ①使用する布の合計面積は110cm×50~100cmとする。使用する布は複数種類使ってもよい。古着を布として使用することは可能だが、古着についているポケットやファスナー、ボタン等の部分をそのまま使用することは認めない。
- ②『バッグ』について
 - ・裏地は付けずに、一重仕立てとする。
 - ・立体構成にする
 - ・『バッグ』の口がふさがるようにする。(中身のでない工夫をする)
- ③デザインの工夫は『バッグ』本体とする。
 - ・裁断後の残布の量をできるだけ少なくする工夫を入れる。布目方向は丈夫さなどを考慮する。(布目方向が異なるパーツもあってよい)
 - ・入れるものの使用目的に合わせて、強度が耐えうる縫い目および縫い代の始末をする。
- ④ポケットは必ず『バッグ』本体に付ける。
(ポケットのうち必ず1つは、ポケット口は三つ折りにし、手でまつり縫いをする)
※貼り付けポケットを必ず一つつけること
- ⑤スナップは1つ以上付ける。(ボタンを付けることは可能)

<問い合わせ先>

御前崎市立浜岡中学校: 柴田 梢 (家庭科)

住所: 〒437-1612 静岡県御前崎市池新田3923-1

Tel: 0537-86-3355 Fax: 0537-86-3356